

SUSTAINABILITY ACTION 2023

**DAYTONA
INTERNATIONAL**

ENVIRONMENT / VALUE CHAIN / PEOPLE / COMMUNITY



みんなと生きる、 豊かな未来へ

デイトナ・インターナショナルは
みんなと生きる、豊かな未来を実現するために
多様なカルチャーや価値観を大切にし
私たちにできること、
楽しみながらできることから
取り組んでいます。

FOCUSED AREAS 注力領域 ▶

01



ENVIRONMENT

豊かな地球を次世代に

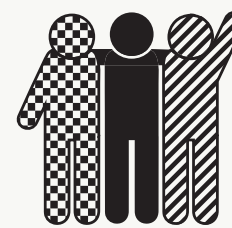
02



VALUE CHAIN

責任ある行動をみんなで

03



PEOPLE

多様な個性を輝かせる

04



COMMUNITY

地域の魅力を最大化し、発信する



豊かな地球を次世代に

ファッション業界の衣料廃棄・大量生産などの深刻な環境課題に対して、デイトナ・インターナショナルは下記の取り組みを実施しました。高い消化率の維持・向上や、捨てないという選択のアップサイクルプロジェクトに参画し、常に課題解決に向けて取り組んでいます。

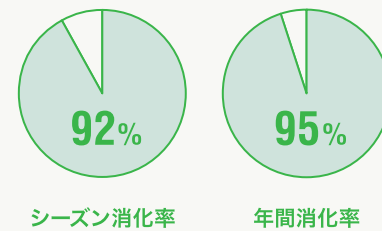
捨てない選択・アップサイクル活用

不要になった衣類や繊維製品を、生活者の協力を仰ぎながらリサイクルに繋げるプロジェクトの「BRING」に賛同し、2021年には、1355点を再資源化しました。製品を繰り返し使うことで、資源やエネルギーの無駄な消費を減らし、持続可能な循環型社会へ貢献できると考えています。



高消化率の維持・向上

デイトナ・インターナショナルは商品廃棄ゼロを目指しています。現在は、シーズン消化率92%、年間消化率95%を維持しています。



FREAK'S STORE x 文化学園大学による 持続可能な産学連携プロジェクト

学生による企画商品化と受注販売、廃棄商材を活用したアップサイクルな作品を展示。

文化学園大学との産学連携プロジェクトとして、サステナブルをテーマに制作した学生の企画商品化・受注販売及び、廃棄商材を活用したアップサイクルをテーマに作品を制作。2023年3月からはじまった「東京クリエイティブサロン日本橋2023」内の「ファッションを通してサステナブルとは何か〜を考えるイベントコンテンツ「THAT'S FASHION WEEKEND」でローンチしました。学生企画商品のビジュアルには学生たちと同世代に当たり、ファッションアイコンとして活躍している「水曜日のカンパネラ」の二代目主演/歌唱担当、詩羽さんをモデルとして起用しました。

PLAN 1 新たな世代の「熱量」をカタチにするプロジェクト

2023年1月文化学園大学ファッションクリエイション学科の年間授業プログラム「コレクションワーク」を終えた学生たちが「サステナブル」をテーマに制作した全8チームのコンペティションを、FREAK'S STOREの商品・販促・ディレクター達が審査し、次世代のクリエイターを支援しました。

全8チーム中、斬新なコンセプトとデザインを提案した「femarl」の1チームを選出。「視覚障害xガーリー」という軸で実際に視覚障がい者の方々へアンケートを実施し、ガーリーなデザインに落とし込みました。斬新な観点が評価へと繋がり、商品化が決定。ラインナップのうち、4型のデザインをFREAK'S STOREの公式オンラインストア「Daytona Park」内で受注販売を行いました。

学生達と同年代でありながら、次世代のファッションアイコンとして独自の世界観をもつ詩羽さんならではの目線と感覚で着用した商品の魅力や自身の活動についてインタビューを実施。多くのお客様に興味関心を持っていただきました。



PLAN 2 「アップサイクル」をテーマに廃棄商材を活用した作品を公開

本来捨てられるはずであった廃棄商材を利用し、アップサイクルをテーマに作品製作する企画を、授業のプログラムとして実現。有志の参加を募り、21体のアップサイクル作品が完成。作品は『THAT'S FASHION WEEKEND』内の福徳の森エリアで、2023年3月に2日間展示が行われました。優秀商品はFREAK'S STOREからアワードを贈呈しました。





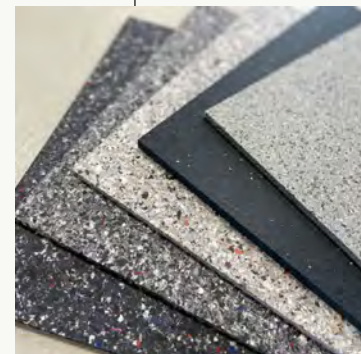
豊かな地球を次世代に

廃棄衣料繊維を原料とする サステナブルな繊維リサイクルボード 「PANECO® (パネコ)」の活用

環境配慮型素材の

繊維リサイクルボード「PANECO®」を

2022年から一部店舗の店内什器に使用。



2022年3月から導入を開始し、計8店舗のオープンとリニューアルオープンに際し、内装の壁面パネルやレジカウンター、カウンター後ろのアートボード、試着室用椅子などに使用し、自社だけでなく他社からも集めた廃棄衣料1,650kgと廃棄木材550kgを新たな資源として活用しています。



1,650 kg
廃棄衣料



550 kg
廃棄木材



PANECO® 導入店舗

- FREAK'S STORE MEN'S + ANDY FREAK'S STORE
- FREAK'S STORE 名古屋PARCO
- FREAK'S STORE アミュプラザ博多
- FREAK'S STORE 阪急西宮ガーデンズ
- FREAK'S STORE ELM
- FREAK'S STORE mozo ワンダーシティ
- FREAK'S STORE くずはモール
- Firsthand RAYARD MIYASHITA PARK

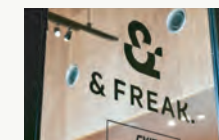
全8店舗にてPANECO®使用しています。



活用例 1

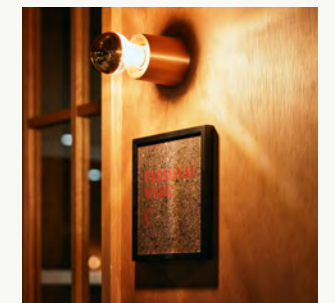
「“The Camp” FREAK'S STORE」の2階、「&FREAK.」での活用

2022年4月に開業したコミュニティ型ワークスペース「&FREAK. (アンドフリーク)」では各部屋に取り付けたサインボードに使用。素材の50%が廃棄されるはずだった衣服、40%が家具を製作したときに出る粉や廃材を圧縮し使用しています。



「&FREAK.」公式サイト

<https://www.daytona-park.com/andfreak/>



活用例 2

「FREAK'S STOREららぽーと富士見」での新たな取り組み

2023年4月にリニューアルオープンした「FREAK'S STOREららぽーと富士見」にて、お客様から不要になった衣類を回収するプロジェクトを期間限定で実施。回収した衣類の一部をPANECO®の原料とし、FREAK'S STOREの新店舗で使用する什器として再活用しています。

2週間で
94名から回収

02



VALUE CHAIN

責任ある行動をみんなで

環境・社会・経済面で持続可能な商品開発に取り組んでいます。

サステナブルマークの増加

お客様・働くスタッフなど、商品を目にする人々にサステナブルな商品選定を促すべく、2022年秋冬から「サステナブルポリシーをオンラインストアに表記」・「商品タグにサステナブルマークをつける取り組み」の2つを行っております。

また、取り組み初年度の2022年秋冬では商品に対するサステナブルマーク対象商品のシェア率が6.3%だったところ、2023年秋冬までの1年間で全体のシェア率11.9%までに増加しました。



商品に対するサステナブルマーク対象商品のシェア率



サステナブルマーク



生産過程とCO2排出量を可視化

“サステナブル・ファッション・アート”をテーマとしたコンセプトストア「Firsthand」が国産オリジナルデニムシリーズの生産過程とCO2排出量を可視化するサステナブルプロジェクトをSDGsプラットフォーム「TADORi」と開始。

「Firsthand」では、Made in Japan denim series(メイドイン ジャパン デニムシリーズ)というオリジナルのデニムアイテムを毎シーズン展開。株式会社UPDATERが運営するSDGsプラットフォーム事業「TADORi」が提供するブロックチェーン技術「TADORi CHAiN-Tsunagu β」を活用。より良い未来につながる取り組みとして、生産過程に関わった企業や、生産過程におけるCO2排出量の透明化を実施しました。

日本は2030年には、2013年比で温室効果ガス46%削減を目指すと表明しています。この脱炭素・循環型社会の形成に向け「Firsthand」は定番デニム商品の生産過程で発生するCO2排出量を正しく把握することで、最適な脱炭素へのアプローチを考え、商品企画において更なる環境負荷低減ができるよう取り組みます。また、青果店で買う野菜がどこの生産者によって育てられたかが分かるのと同じように、アパレル製造における「生産過程の見える化」という課題に対してもアプローチを行い、このデニムシリーズの生産に関わった企業を確認することを可能にしました。

これまで見えづかった生産背景を可視化し、改ざん不可能なブロックチェーンに連携させることでお客様に新たな選択基準を提供いたします。



CO2排出量の可視化

生産過程に関わった企業の可視化





多様な個性を輝かせる

多様な性(LGBTQIA+)への理解促進を軸に、ダイバーシティ&インクルージョンを推進します。従業員のダイバーシティの理解度を高めるために、研修制度も強化しています。

女性活躍

女性活躍を支援する取り組みとして、2023年10月より「育児と仕事の両立支援プロジェクト」を発足しました。このプロジェクトは子育てしながらも、諦めることなく、さらに活躍・キャリアアップしたいと思える環境をつくり、実際に実現していくプロジェクトです。現在プロジェクトメンバーは8名。実際に子育てをしているスタッフ以外のメンバーも加え、偏った視点だけにならないように様々な角度からの意見を取り入れて活動しています。



研修制度

コンプライアンス研修

新入社員研修

入店前研修

階層研修

3カ年研修

入社オリエンテーション



障がい者雇用

障がい者雇用の背景

デイトナ・インターナショナルは、社会的責任、SDGsの観点から障がい者雇用に積極的に取り組んでいます。

POINT 1

社会的責任の観点

「障害者雇用促進法」により、一定以上の規模の会社では障がい者の方を基準社員数の2.3%以上採用すべきということが定められています。当社は現状未達ですが、達成に向けて尽力しております。

POINT 2

SDGsの観点

障がいをお持ちの方と一緒に働くことは、デイトナ・インターナショナルとしてのSDGs活動を推進することにも繋がると考えています。これは性別・国籍の違いや障がいの有無に関係なく誰もが活躍・成長できる場を提供することで「目標5」及び「目標10」の達成となるためです。

デイトナ・インターナショナルでは、現在本社を中心にそれぞれ得意なことを活かして業務に当たっていただいている他、デフサッカー日本代表メンバーとして活躍しているデフアスリートの方もいます。

更なる採用促進のために、本社以外にも店舗を含めた全社で採用ポジションを検討し、様々な方が活躍できる環境を整え受け入れを実現していきます。

アスリート雇用

デイトナ・インターナショナルでは、競技活動をメインにしながら仕事ができる「アスリート雇用」という制度があり、現在もその形態で雇用している従業員もいます。面接では必ず「アスリートとしての短期的・長期的な目標」や「引退後のキャリア目標」を尋ね、アスリート契約であったとしても、引退後のキャリアもサポートしていく考えです。

障がいを理由にキャリアや選択肢を狭めるのではなく、それぞれの個性を生かし活躍していただくために、この制度を設けています。



大西 諒

デフサッカー(聴覚障がい者のサッカー) 日本代表選手
サービス本部 人事総務部 総務担当

目標は、アスリートとしてみても結果を出すことです！

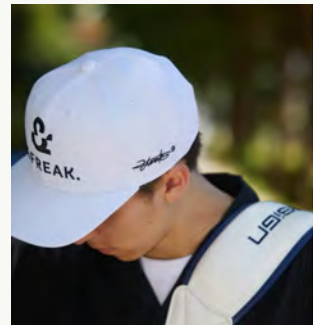


地域の魅力を最大化し、発信する

様々な地域コミュニティや社会の「課題」を、「魅力」へ変換。次世代を担うユースに寄り添ったデザイン・プロダクト・サービスでコミュニケーションを再設計、包括的な課題解決に繋がっていきます。

ふるさと納税返礼品を 地元企業「DOUCUS」とコラボレーション

茨城県古河市の魅力を全国にPRするため「The Camp」 FREAK'S STORE」及び「&FREAK.」と同じ古河市に拠点をおく、ゴルフブランド「DOUCUS(ドューカス)」とのコラボレーションを2023年に実施。ゴルフ人口の増加に伴い、若年層へ「ゴルフ」×「ライフスタイル」の提案を行いました。ふるさと納税返礼品として出品し、古河から全国へ発信。本企画の発表後、好評のため短期間で応募上限に達し完売。また、「&FREAK.」においても展示販売イベントを行い、県外からも多くの来客動員を生むなど、コラボレーションを通じて古河市の活性化に貢献しました。



コミュニティ型 コワーキングスペース 「&FREAK.」でのSDGs活動

FREAK'S STORE1号店となる茨城県古河市の「The Camp」 FREAK'S STORE」2階で展開するコミュニティ型コワーキングスペース「&FREAK.」。古河市と連携協定を結び地域の課題解決に向け、新しい働き方や人生の好きを見つけシェアできる新たな場として運営しています。



～ 過去の豊かさを未来の豊かさに～

ZOZOTOWN×FREAK'S STOREによる
サステナブルなイベント開催＆商品が発売

ごみで作った
デニム

ZOZOTOWN×FREAK'S STORE
2023.12.15(土) 12:00-18:00
「The Camp」 FREAK'S STORE 2F &FREAK.

コラボレーションアイテム

株式会社ZOZOが運営する生産支援プラットフォーム「Made by ZOZO」とコラボレーション。回収したペットボトルなどのごみをリサイクルした再生繊維を一部使用したデニム生地でFREAK'S STOREのアイテムを製作しました。



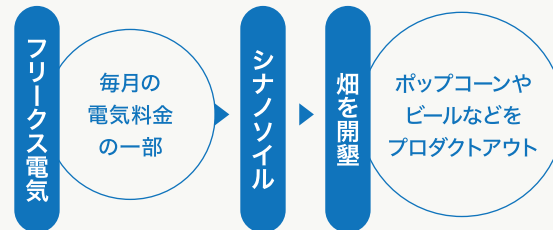
サステナブルイベント

2023年12月に、株式会社ZOZOとコラボレーションしたサステナブルイベントを開催。一般社団法人 オーシャン太郎協力のもと、渋谷の街で拾ったペットボトルキャップを使用したアクセサリービーズのワークショップを開催。アクセサリーの紐は、古河市内の学校で使われなくなったバレーボールネットを使用し、1DAYイベントながら50名超が来場しました。

再生可能エネルギーの課題に向け「フリークス電気」を開始



株式会社UPDATERによる「みんな電力」と協業し、再エネ電力プラン「フリークス電気」を開始。若年層への再エネの認知促進と、県内の耕作放棄地の活用という2つの課題に同時にアプローチした企画。毎月の電気料金の一部が、県内在学生を中心に社会活動に取り組むNPO法人「シナノソイル」に応援金として届きます。開墾した畑からポップコーンやビールなどをプロダクトアウトしました。



2023年の収穫祭には「農ライフアンバサダー」として活躍する武藤千春氏の他、行政、学生、メディア、農家など、約80名が参加。収穫面積約2000平方メートル、約200kgのトウモロコシを収穫しました。

着て、食べて応援！長野県のローカル飲食店とコラボレーションした「着る、名店スウェット」



地域の活性化を目的に、長野ローカルから愛される名店とのコラボレーションを実施。住み続けたいと思える街づくりに向け、街の顔とも言える人気の飲食店をフックアップし、スウェットやトートバッグなどのコラボレーションアイテムを製作。リージョナルメディアでも多数の特集が組まれました。



信州ブランドアワード2023 『しあわせ信州部門』受賞



【信州ブランドアワードとは】 信州のブランド力向上に貢献したブランドとデザインを長野県の産学官が協働して選定・表彰する県主催のアワード。受賞ブランドは県内外の様々な場面で発信される。

フリークス電気の活動から生まれたポップコーン「爆裂シナノポップ」が「しあわせ信州部門賞」を受賞。共創によるイノベーションが生み出した製品として高い評価を得ました。

爆裂シナノポップは、農業未使用、無除草、添加物不使用、遺伝子組み換えなしの希少な国産ポップコーンとして環境に配慮しながら丁寧に育成。採れたてを真空パックに詰め、見た目にも楽しい商品に。



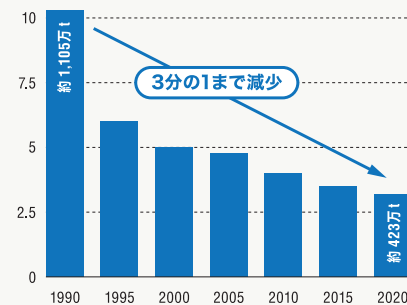
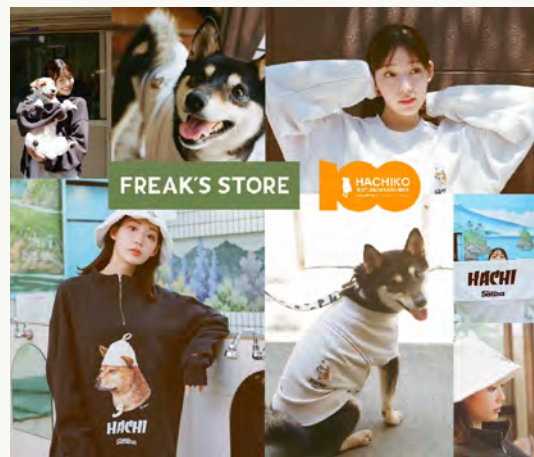
「ながの県庁マルシェ」でのワークショップ&出店

長野県庁前での「ながの県庁マルシェ」へ参加。フリークス電気の取り組みで収穫したポップコーン用トウモロコシを販売。さらにトウモロコシの実ががしなど収穫体験のワークショップを開催。就農体験の入り口作りとして長野県庁農政部と協力し、家族連れや学生など、普段農作物の生産現場から遠い方にも参加いただけました。

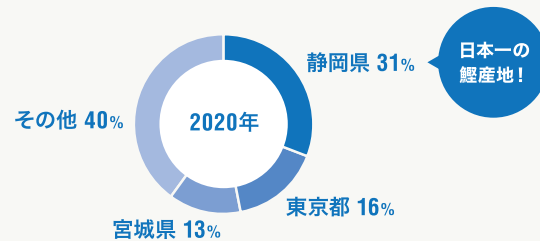


未利用資源・未利用魚をテーマにした
”食べて・着て・知る、SDGsプロジェクト”
「OSAKANAFREAK」を発足。

2023年5月、世界的な課題のひとつでもある漁獲量の減少とフードロス問題に着目し、静岡県内の大学・研究機関・地元企業と連動して「未利用資源」(＝これまで廃棄物とされていた資源のこと)を使用した新たな特産品を開発。共同開発第1弾として、鰹の未利用資源を使用したパスタソース「焼津鰹のペペロンチーノ」を発売。業種の壁を越えて静岡県の自然、課題、魅力を県外にも発信。2024年1月には第2弾「焼津鰹のアマトリチャーナ」がローンチ。



日本の漁獲量推移(農林水産省調べ)



出典: 漁業・養殖業生産統計年報

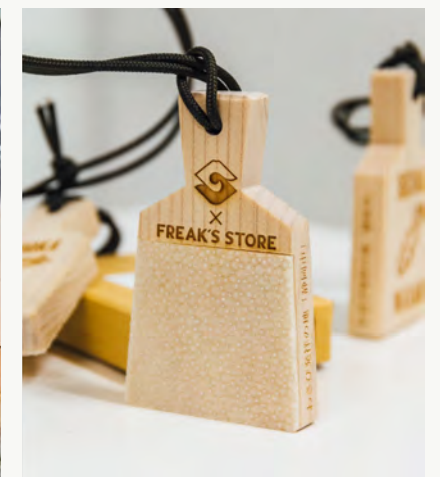


静岡で水揚げされる鰹一匹に対して、食用利用されるのは60%ほど。残りの40%は、食用利用されていないことがほとんど。40%にもものぼる貴重な蛋白源を有効活用できればと、パスタソースを作成。



静岡市にて開催
「わさびフェス」と協業し
オフィシャルグッズを製作。

2023年11月に開催された全国わさび生産者大会静岡大会、通称「わさびフェス」と協業しオフィシャルグッズを製作。わさびの名産地であり、世界農業遺産に認定されているわさびを若者を中心に広めたいという想いから本企画の取り組みがスタート。



オフィシャルグッズ

FREAK'S STOREらしいリラックス感のあるボディにわさびのイラストを落としこんだキャッチーなスウェットを販売したほか、首下げのアクセサリーとしても使用可能な特製わさびすりおろし器を製作。



地域の魅力を最大化し、発信する

地域との取り組み

その他

「好き!」と「楽しい!」のプラットフォームとして、新プロジェクト「FREAK'S VILLAGE」始動



全国の店舗とオンラインを舞台に、全国各地のクリエイターや企業、地域との結びつきから生まれた魅力あるコラボレーションを発信。地域の課題をFREAK'S VILLAGEを通して魅力に変換します。様々なコミュニティと共創し今までにない体験価値を提供、熱量の高いフリークの集まりによる新たなコミュニティ型コンサルティングファームを目指します。

COMMUNITY 1

鉄道×アパレルのコラボレーションを通じ沿線地域を元気に。「京成フリーク」



東京上野にある「旧博物館動物園駅」の開業90周年を記念して京成電鉄と『京成フリーク』の第1弾コラボレーションを実施。ユニークベニューを活用したプレミアムイベントとして2日間限定のPOPUP SHOPでは入場チケット470枚が即完売するなど、話題性のあるイベントを演出しました。

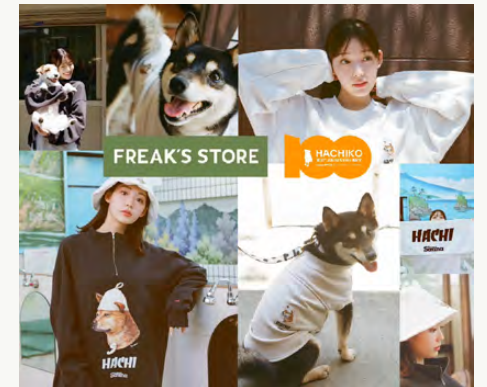


COMMUNITY 2

渋谷のシンボル『ハチ公生誕100年プロジェクト』



渋谷区観光協会主幹、ハチ公生誕100年を記念した「ハチ100プロジェクト」にてアパレルコラボレーションや特別冊子のディレクション・編集を実施。パイリンガルバージョンも制作され渋谷各所にて配布。渋谷が誇るローカルの名所を世界に発信しました。



COMMUNITY 3

福岡市が開催する「The Creators 2023」の公式アパレルパートナーに

「クリエイティブなまち・福岡」で、新たな文化やテクノロジーに触れ、最先端エンターテインメントを体験できる「The Creators 2023」の公式アパレルパートナーとして、福岡出身のアーティストを起用しスウェットを製作。



COMMUNITY 4

大田区とのオープンイノベーション企画

大田区が主催するプロジェクト「NEWコラボレーション@PiOPARK」で町工場の技術力を活かした焚き火台とランプシェードを開発。地域活性化への貢献としてオープンイノベーションの取組みに参画し、「PiOPARK」の魅力を発信しました。



DAYTONA
INTERNATIONAL